

1, 調査報告概要表

【評価実施概要】

事業所番号	(評価機関で記入) 3471503700
法人名	NPO法人 啓明
事業所名	グループホーム レインボー
所在地	福山市東深津町4丁目15 - 2 (電話) 084 - 923 - 7756
評価機関名	特定非営利活動法人 あしすと
所在地	福山市三吉町南一丁目11 - 31 - 201
訪問調査日	平成 20 年 2 月 25 日

【情報提供票より】(20 年 2 月 15 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 利用定員数計 7 月 1 日
ユニット数	1 ユニット 9 人
職員数	8 人 常勤 8 人 非常勤 0 人 常勤換算 8 人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り
	1 階建ての 階 ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	25,000 円	
敷 金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金)	有(100,000 円)	有りの場合 償却の有無	有 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,000 円		

(4) 利用者の概要(2 月 15 日現在)

利用者人数	9 名	男性	4 名	女性	5 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名		
要介護3	2 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83 歳	最低	79 歳	最高	86 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 慈生会 前原病院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】作成日 平成 20 年 2 月 29 日

グループホームの立地場所が福山市街・中心部にあり、利用者の家族が訪問するのに便利な場所にある。職員は利用者のあるがままの姿を自然に受け入れ、「利用者本意」をモットーに安心安全を心がけている。職員は、利用者との会話・触れ合いから得る“笑顔”を唯一の楽しみとして業務に励んでいる。申し送りノートやヒヤリハット等の報告書は要点を捉え、利用者に対するケアに結びつけている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価から運営者、管理者は「利用者主体の介護」「利用者の思いを受けとめ、真摯に向かい合う介護」「事故のない介護」を、より一層充実させ、職員とともに取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員全員が評価項目に目を通し、評価の意義を理解している。管理者は職員の意見を取り入れ、自己評価に取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議を半年に一度開催している。議題については、利用者の状況、行事報告、外部評価の取り組み等について話し合っている。運営推進会議を行うことで、利用者家族からの意見や要望をより明確に聞く事ができた。また、地域包括支援センターの職員が同席する事で話題も広がり、地域の情報を把握することができた。しかし、現地での地域住民の参加者がなく、連携を深めることが難しい。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>毎月、利用者の生活の様子を伝える写真を送付し、誕生月には一年間の写真アルバムを贈呈している。家族の面会時には利用者の生活状況や健康状態を話し、介護計画の相談をしている。夏祭りや新年会・運営推進会議等に参加を呼びかけ、家族の意見や苦情、不安等を汲み取り、相互の信頼関係を築いている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>公民館の行事や敬老会には利用者とともに参加している。事業所の場所が国道筋の商業地域にあり、住民との気軽な付き合いには難しい面もある。しかし、買い物や散歩等ですれ違う方々に積極的に挨拶をし、地域の方々と馴染みのある関係を築く努力をしている。</p>

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	『暖かい家庭的な雰囲気、満足感と安らぎのある生活』を、事業所独自の理念として、運営している。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は理念をよく理解し、利用者の状態と体調を日々確認し、理念に照らし合わせ、「今何が大切なのか」を、申し送り時に職員間で話し合っている。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	公民館の行事や敬老会に参加している。散歩時や買い物時には地域の方々に進んで挨拶をしている。また、祭りのときには地域の神輿が事業所まで来てくれる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員が評価項目に目を通し、内容を把握している。管理者は職員に意見を聞き、自己評価に取り組んでいる。外部評価の結果について、改善に向け職員間で話し合い、具体的に実践している。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	半年に一度、運営推進会議を開催している。しかし、地域の方々の参加がなく、議題も利用者の状況を伝え、事業所に対する要望を聞く事にとどまっている。		地域の方々が参加したくなる議題や会議の進め方等の検討が望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	福山市役所の生活福祉課や包括支援センターと連携し、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、請求書送付時に利用者の写真を同封し、誕生日には年間の様子を伝えるアルバムを贈呈している。家族の面会時には湯茶を出し、利用者の生活状況や健康状態、介護計画等について話し合い、家族との信頼関係を築いている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員は、面会時に家族の意見を聞き、真摯に受け止めながら対応することで、お互いの信頼関係を築いている。新年会や夏祭り、運営推進会議等に家族の方々の参加を呼びかけ、意見や苦情を汲み取り、参加者と共に共有し、運営に反映している。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者の気持ちに配慮し、伝え方についての工夫をしている。利用者が自然に受け入れるのを見守っている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新任の職員は先輩職員の指導を受け、働きながら学んでいる。年に数回、ミーティングを行い、職員間で話し合っている。しかし、外部研修や内部研修等の取り組みは行われていない。		職員が外部研修や内部研修等に参加する機会をつくり、更なる向上につなげる取り組みが望まれる。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者は他のグループホームとの交流の必要性を感じている。しかし、現時点での交流は行われていない。		職員の質の向上のため、ネットワークづくりや勉強会等の取り組みが期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>事前面接を行い、グループホームを体験した上で、入居している利用者もいる。しかし、グループホームに馴染めない方や入居について納得しないまま入居した利用者について、本人が心を開き安心して過ごせるようになるまで職員が付き添い、家族と相談しながら工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は人生の先輩としての利用者の言葉に喜んで耳を傾けている。お互いの信頼関係を築き、利用者一人ひとりと支えあう関係を築いている。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は「利用者の満足感と安らぎのある生活」を理念に掲げ、日々取り組んでいる。自分の意思を言葉に表現することが出来ない利用者についてはその表情や様子から理解するように、取り組んでいる。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>職員は担当している利用者の課題を明確にし、管理者と話し合っている。管理者は主治医の意見を取り入れ、家族と話し合い、介護計画を作成している。作成した介護計画は家族に手渡しして説明し、了解を得ている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>現状に変化のない利用者の介護計画はおおむね一年ごとに見直している。変化が生じた場合はその都度モニタリングを行い、現状に即して見直しを行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族のニーズに応じている。かかりつけ医や訪問看護師との連携等、柔軟な支援がなされている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居以前からのかかりつけ医との関係を大切に、利用者と家族、かかりつけ医との連携を継続して支援している。また、協力医療機関との連携もあり、二週間に一回の往診を受けている。利用者の状況に変化が生じた場合について、協力医療機関が夜間でも対応してくれる。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時のアセスメントにおいて、終末期における希望を確認し、早い段階から家族との話し合いを行っている。利用者が重度化した場合や終末期のあり方について、本人や家族と繰り返し話し合い、意思を尊重している。かかりつけ医や訪問看護師の支援を受け、職員全員で方針を共有し、真摯に取り組んでいる。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者の誇りを大切に、耳元でさりげない言葉かけをしている。自分の意思を表現できない利用者についてはその表情や様子から理解し、プライバシーを損ねないように配慮している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の言葉や表情からその日の体調を把握し、一人ひとりが生き生きと生活できるように支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を食べるのに、時間がかかっても利用者のペースを尊重し、見守っている。食後の片付けも利用者と共にやっている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎朝と入浴前はバイタルサインのチェックをし、利用者の状態を確認して入浴支援を行っている。概ね1週間に2～3回の間隔で入浴を楽しんでいる。しかし、利用者の希望があれば毎日の入浴も可能である。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の誕生月には好みの献立や希望する行事等を企画している。日常生活の役割について、利用者それぞれが、自分にできる仕事を職員と共に協力しながらやっている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望や体調を把握し、買い物やドライブ、散歩等に出かけている。精神的な安定のためにほとんど毎日出かけている利用者もいる。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけていない。原則として見守りを主体とした対応をしている。内扉には鈴を取り付け、事務所にはモニターテレビを設置している。外出の傾向がある利用者は見守りやすい居室に位置替えして対応している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年二回の避難訓練をしている。避難場所として銀行や近くの協力医療機関、老人保健施設等の協力を得ている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日を通しての栄養摂取量や水分摂取量を把握し、それぞれの利用者の状態や習慣を理解して支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングの天井が高いので威圧感がなく、暖かさと安らぎが感じられる共用空間である。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は本人が使い慣れた家具等が持ち込まれ、居心地よく過ごせる工夫がされている。		

介護サービス自己評価基準

認知症対応型共同生活介護

事業所名 グループホーム レインボー

評価年月日 2008年 2月 25日

記入年月日 2008年 2月 15日

記入者 代表/管理者 氏名 高橋 敬子

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	○	今後もミーティング等で理念をとりあげ、ご利用者様に「今何が一番大切なのか」をよく話し合い、意見の統一を図っていくよう努めます。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	○	地域の皆様に事業所の理念を 今以上に理解して頂ける様に積極的に努めていきたいと思いをします。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○	近隣の方々との関わりを 今以上に持てる様に努力をしていきたいと思いをします。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○	今後も地域の一員として色々な活動に参加していく様に努めます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議開催の折に話し合い、地域の高齢者の方々の要望にこたえられるよう相談を受けています。地域の皆様の見学もよくあり相談を受けています。	○	特に見学の要望がよくありますが、必要に応じて入居の空が無く他のサービス機関に連携をとるように努力を続けております。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価の内容を 職員全員が活かせるよう周知し実践できるように その都度改善しております。	○	新職員の折などは 特に意義を理解し実行するのに時間を要しますので、その都度 周知実践できるようにしております。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議開催の折に 入居様の状況・ホームの活動・行事報告・評価の取り組み等も話し合い、その意見をもとにサービス向上に活かしております。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市生活福祉課との連携により担当者や希望者の見学後に入居に至るケースもあり、福山市と共にサービスの質の向上に取り組んでおります。	○	市とも話し合い 今後も 質の向上につながる様にとめていきます。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	施設長及び管理者は権利擁護や成年後見制度について学んではいますが 現在 それが必要なご利用者様はおられませんので活用には至っておりません。	○	この制度について 職員全員が把握し活用できるように努めていきたいと思えます。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止に関して一応の知識は全員もっておりますので、日々の生活において言葉使いや冷静な対応を心掛けるように 常にミーティングや申し送りで伝えております。	○	虐待防止にについて 職員全員が今以上に理解を深めるよう努めていきます。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4 . 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には ご利用者様が不安を抱かれない様に十分に説明をし、疑問点はしっかり聞くように心掛けております。解約時も退去用件に添って十分に話し合い納得して頂いた上で、解約しております。</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご利用者様のご要望は速やかに対応、施設長も把握しております。口頭はもちろんの事、申し送り等で早く対応し実現出来るようにしております。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月ご家族様に連絡しており、面会・行事等の折の報告、体調変動時には速やかに連絡し医療とも連携をとり診察結果を家族に報告しています。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情相談窓口は、重要事項説明書にも記しておりますが口頭でもご家族様に伝えており、玄関口にもご意見箱を設置しております。その後、速やかに対応し運営に反映させております。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>折々のミーティングで職員の意見徴収を行い日々の業務に反映させております。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>ご利用者様やご家族様のご都合に合わせて迅速に職員間に連絡し勤務調整をしております。</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ご利用者様の心の動揺が無いように日々の職員勤務体制を整えております。やむを得ず離職者が出た折には、分かり易いように、必要最小限の説明をして納得して頂いております。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5 . 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の知識や技能に応じて 日々研修指導をし、経験浅い職員には早く現場に馴染んで貰える様に、O J T (現場での指導)の確保に努めています。	○	今後は 外部の研修の機会を設けていきたいです。
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者は 連携会議に過去には毎月出席し 情報交換をしていましたが 独自法人設立なので 管理者や職員が地域の同業者と交流する機会はほとんどありません。	○	同じ福祉職員同士が連携出来る方法がつかめたら、地域でのネットワークで勉強会や親睦会などが出来、お互いに交流を深めながら、サービスの質の向上につながるのではないかと望んでいます。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	限られた職員なので全員で会議での親睦会や行事の参加や、その他 独自での交流を行っております。 お互いに「話し合い」を常としております。	○	全員での外部での親睦会が時間などの面で難しいのですが、可能な限り開きたいと思っております。 親睦会費も積み立てており、今年に入り 2 グループに分かれて開催をし、ストレス軽減につとめました。
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	毎月の給料日に直接手渡しし 意見を聞き、各自が向上心を持って働けるように ねぎらいの声掛けをしております。	○	職員との交流の場をもっと増やし、ストレスの把握をし、福利厚生や勤続年数による実績の評価を今後していく必要があると思います。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1 . 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初めに築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	最初の面接の折に ご本人様の思いや訴えに耳を傾け、入居前に必ず生活状態を把握し、ご本人納得の上で 入居して頂く様につとめております。	○	面接しても、ご家族様の要望のほうが強く ご本人の理解の無いままの場合もあり、入居後の環境の変化に適応難しく、かなり日数を要す事多く、今後そのような事が無いように努めたいと思います。
24	初めに築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族様より 現在の状況・不安・要望・ご本人の過去の生活スタイル等をしっかり聞くように心掛けています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	情報提供書の内容及び面接時のご本人やご家族様の意見をよく聞き、「今一番必要としている事は何なのか」を把握した上で、今までのサービス事業者とも連携し協力を得ながらサービス対応に努めています。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	面接し入居までに見学して頂き 納得の上でサービス利用につなげています。入居当初はご家族様の協力(面会)を得ながらの場合もあります。	○	環境の変化に馴染めないご利用者様もおられ、ご家族の協力を得られない場合があります。ご本人様の心情に思いを致す時、訴えをよく傾聴し、ホームの雰囲気工夫し、職員との信頼関係の構築で 早く馴染みの関係が出来るように 努めています。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	毎日の生活の中で、ご利用者様が若い頃より色々経験した事、培った事などが よく会話の端々に出てくる事があり、ホームの日常の出来事や行事等に於いてそれに関して一緒に考えたり、感動する事で、「する」「される」という一方的な間柄にならないよう心がけています。	○	今後も、楽しい場面だけでなく、怒り、悲しみなどの時も、同じ目線で一緒に考え工夫していける間柄になっていきたいと思えます。ご利用者様を人生の大先輩として敬い、常に尊厳の気持ちを大事にして 日常の会話を大事にしていきたいと思えます。
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	面会や行事・通院など、折に触れて ご家族様とよく話し合い、今の気持ちや要望等 又ご利用者様がご家族にしか打ち明けられない気持ちなどを伝えてもらい、共に考え工夫し、一緒に支えていく関係を築いています。	○	ご家族様にどんな事でも話して貰える間柄になる為にも、まずできる限り寛いで頂ける雰囲気、今後も信頼関係の保持に努めていきたいです。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご入居の際、気持ちのわだかまりで 環境の変化に精神不安に陥られるご利用者様もおられますが、行事への家族の参加や日々の面会を通して、普段のご様子をお伝えし、お互いが楽しく過ごせるような 雰囲気作りを心掛けています。	○	ご家族様に 今後も出来るだけ面会や行事への参加をして頂き、ご利用者様が淋しい思いをされないよう努めていきたいです。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	長年の病院(ドクター)とは、ご本人様やご家族の要望があれば、出来るだけ継続出来る様に努めています。又、電話や面会、可能なら 外出にて思い出の人に会う機会や、場所にお連れして 満足が得られるように支援し、ご希望に添えるようにしております。	○	「家に帰ってみたい」と言われるご利用者様もおられますので、今後ご家族様と相談しながら検討していきたいです。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	その日のご利用者様の表情、言動に常に気を配り、利用者同士の関わり合いが良くなるように努めています。それぞれの方々が会話を楽しみ 共有出来る様な話題の提供や、レクリエーション等工夫し 楽しんで頂いています。	○	意思疎通が困難で、なかなか他のご利用者様との関係を築けられない方もおられますが、少しでも、コミュニケーションをとって頂けるにはどうすれば良いかなど、検討しながら日々工夫をしております。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	体調不良の為に入院し、退去された方について、その後の経過や精神的不安を和らげるように面会や、ご家族様より相談を受けたりしております。自立支援の為、ご本人の要望で帰宅された方も、時折連絡をとるようにしてその後の様子を伺っております。		
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1．一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	自分からの思いや希望を折りに触れて聞き、日常生活に取り入れています。意思疎通が難しいご利用者様については、普段の何気ない言葉の中に、思いが込められている場合がよくありますので、日常の会話を特に大切にしております。	○	意思疎通の困難な方については、以前の暮らしぶり、生き方などをご家族様や今までの支援者に確認をしながら検討し 今後も支援していきます。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居に際しての面接でご本人の生活歴を聞いたり、ご家族様の話や福祉医療関係者からの情報提供書により今までの経緯や、サービス利用歴を把握しています。	○	ご家族様や関係者からの要望だけで、情報提供書も無く状況判断に困る場合も有りますので、今後その様な事の無いように、よく話し合い検討した上で入居していただき、今までの生活歴に馴染める様な生活をして頂きたい、と 思っております。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個別援助による 日々の過ごし方、心身状態を介護記録や健康管理表、食事摂取量等に記録し把握しています。体調等で特変ある場合は日々の申し送り、特記事項や申し送り連絡帳に記載し、職員全員が把握出来る様に努めています。		
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人からは、ご意見ご要望を聞き取り、ご家族、関係者等と話し合い、職員間ではケア介護を開催し、今後の対応について検討し介護計画に反映し、実践しています。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月あるいは6ヶ月毎に見直しをし、入院などで状態が変わればその都度、本人、家族、関係者と話し合い、計画の見直しを行うと共に、改善にむけての新たな計画を作成しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご利用者様の状態や いつもと異なる言動は日々記録し、状況が変わればその都度、職員間で情報交換し、介護計画を見直し、ケアを実践しております。		
3．多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご本人の状態・ご家族のご要望により、必要時は迅速に受診、勤務変更を行うなど臨機応変に対応しております。	○	原則、受診時はご家族様対応ですが 依頼される事多く、職員対応となります。その場合 通院に時間がかかりすぎると他の業務に支障をきたす事もあり、緊急に対応可能な職員の検討も必要と考えております。
4．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消防署と連携をとり、毎年避難訓練、又 運営推進会議、毎月の行事に新年会、夏祭り等の開催で地域の方々にボランティアの協力をして頂いたり、挨拶周りで常に協力を呼びかけながら支援を行っています。		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	グループホームは家庭的にをモットーに支援しており、介護保険で他のサービス利用が難しいので、他の事業所との連携が今の所なされていません。なるべく外出支援で対応しているのが現状です。	○	職員が研修等で情報交換を行うことは出来ますが、他のサービス事業所を利用する事は出来ず、同様の事業所と交流が出来たらと考えております。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に地域包括支援センターの職員さんに参加していただき、利用者様の情報交換や協力関係を築き、協働しております。	○	今以上の連携をとり、ご利用者様が地域にもう少し馴染める様にネットワークを知りたいと思っています。
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関との連携はありますが、ご本人、ご家族様のご要望により、馴染みのかかりつけ医との関係を継続して頂き、その医療機関に受診してもらっております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	協力医療機関やそれぞれの受診医療機関にて その都度相談にのってもらっております。その折にはご家族様にまず相談し、対応しております。		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	医療連携により、訪問看護ステーションと協働しながら支援しております。もちろん 毎日の健康管理、日々の状態変化を見落とさないように記録、支援をしております。		
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院先との情報交換は随時行い、病状や入院期間等可能な限り把握するよう努めています。そのためには、洗濯物、必要品持参等 入院先への面会を怠らざっております。		
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナルケアに関しては 早い段階でのご本人の要望やご家族様の意向を踏まえ、医療機関と連携をしながら、職員全員で方針の共有をしております。		
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	終末に関しては重要事項にも状況に応じて相談に応じるようにしておりますが、ご家族様がご希望される事多く、職員一致して支援するように、医療機関と連携しながら看取り介護を行っております。		
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	環境の変化に戸惑われる事のないように、家族、ケア関係者との情報交換、注意事項をきちんと話し合い、安心できる生活を提供できるよう支援しております。	○	ご本人様の納得のないままの入居の場合、環境の変化に順応されるまでかなりの日数を要し、他の利用者様にも影響を与えかねないときもあり、今後十分な話し合いの上の入居が望ましいと考えております。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1．その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>常にご本人様を主体に、声掛けにて意向を確認し、誇りを損ねないように対応し、記録等に於いても職員間で常に話し合いながら、個人情報の取り扱いに注意し、プライバシーを傷つけないような記載をしております。</p>	
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>笑顔でゆっくり会話をし、話しやすい環境を作っております。その方に応じた分かり易い説明で、自己決定を尊重し、希望や感情の表現を出して貰えるように働きかけております。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>その日の体調や気分に合わせてご本人様の要望を聞き、散歩や入浴、お昼寝、レクリエーション等に参加していただき、フリータイムにてリラックス時間も設けております。食事時間も体調にあわせてずらす事もあります。</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>毎朝の衣服着衣の際もご本人様の希望に添い、外出の際のコーディネート等も その人らしいおしゃれが出来る様支援しております。理容・美容等も望まれるように外出支援をしております。</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>お1人おひとりの好みや能力を活かしながら、可能な限り ご利用者様と共に準備や食事・後片付けをしております。毎日のテーブルふきやお絞り作り等は日課となっており、率先して手伝って下さっております。行事食の折には特にお食事が楽しみで笑顔がこぼれています。</p>	<p>○ 長年のご入居者様は 次第に身体機能の低下も見られ、その人に応じたお手伝いをしては頂いておりますが、高齢につれて全員参加はなかなか難しくなりつつあります。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>お1人おひとりの好みをお聞きし、折に触れておやつ等や行事で提供し、たばこは健康の為 なるべく禁煙して貰っていますが、要望に添って屋外でスタッフと会話しながら楽しんでもらっております。</p>	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表にて、お1人おひとりの排泄パターンを把握し、日中はトイレ誘導や介助にて気持ちよい排泄の支援をしております。夜間もなるべくトイレ誘導・介助にて対応し やむを得ないご利用者様にはご家族様の了解を得て、紙パンツや尿取りを利用させて頂いております。...が、定期的に排泄声賭けやチェックを行い、失		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望により、定期的に入浴し、時間帯や曜日もご利用者様のご要望に添うように支援しており、その日の体調に合わせた入浴支援もしております。ほとんどの皆さんは、入浴を楽しんでくださっており、清潔保持に努めております。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夕食後、ホールでテレビ等で楽しみ、洗面・歯磨き・トイレ・更衣等を済まされ自室で安心して入眠されております。帰室後 テレビやラジオを楽しまれ眠りにつかれる方もおられ、それぞれに合わせて定期的に見回り消灯、排泄支援をしております。不眠の方はホールで過ごしていただき、落ち着いた後、帰室し休眠して頂いてお		
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	女性の方が多く、日常の家事の延長としてのお手伝いをよくしていただきます。洗濯に関しては、自分の役割として積極的に干したり畳んだりして下さり、その都度「ありがとうございます。」や「助かります。」など感謝の気持ちを伝えるようしております。		
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	可能な方は、ご自分で管理して頂いております。又 ご本人やご家族様の要望により、事務所預かりとし、必要時に ご本人に渡すなどの支援もしております。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	お1人おひとりの希望や、体調によって、近隣の散歩や、ドライブ、買い物等に 出かけたり 又 毎月の行事に外出の企画を立てたりして実施しています。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご利用者様のご要望を聞きながら、行事等の折の外出に実行したり、又個別にお連れしたりしております。時期により、お墓参りや郊外など希望される方もあり、日程調節して可能なら、要望に添うようにしております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご利用様が「家族に電話をかけたい」と要望された場合は、職員がかけ、一言お伝えして本人に手渡すようにしています。外部からの電話の取次ぎもよくあり、ご自由に話して頂いております。お手紙が届くと喜ばれ、お電話でお返事をされることもあります。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時間は決めていない為、いつでも気軽に訪問して頂いております。居室以外でも、廊下やホールにソファを配置し お茶などで気分を和らげながら談話されております。ご家族様に優る笑顔はありません。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設長や管理者は、日々の業務の中で、職員が自覚しないで身体拘束をしてないかを把握し、ミーティングや日々の申し送りの中で、各人が是正しケアに取り組めるよう訓示しております。職員全員、「身体拘束は絶対しない」の思いでケアに取り組んでいます。	○	身体拘束をしない為の資料を、職員全員がもう一度見直し「具体的な身体拘束ゼロ」の自覚を新たにし、介護職員としての意識レベルを高める必要が有ると思っています。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室はもちろん 日中には玄関に鍵をかけないようにしています。ただし、国道に面しており交通量も多く、安全確保の為 せざるを得ない場合も有りますので、日頃より、玄関の出入りには常に注意を払い、事故防止には十分気をつけております。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に、ご利用様様の所在を把握し、その日の様子によってはプライバシーに配慮しながら目を放さない様に努め安全に配慮しております。夜間は特に転倒の無い様に頻回に見回りをし、様子確認をしております。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	居室にはご利用様様の状態に応じたように希望品を設置し、トイレ・洗面所等には、洗剤・消毒液・薬など間違えやすいものは 手の触れない所に収納し危険防止に努めています。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ケア会議で検討して、その人に応じた介護計画を全員が把握実践し 個別援助で1人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいます。事故やヒヤリハット記載事項の状況を全員がよく把握し、同様のことが再び起こらないように取り組んでいます。	○	危険に遭遇した場合は、その日の勤務者全員で話し合い、ヒヤリハット報告を早急に提出するようにしていますが、今後も 職員全員に徹底し事故防止につなげたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急対応マニュアルを職員全員周知し、初期対応できる体制をとってはいます。...が、夜間等に直面した場合、連絡網にて対応指示する場合があります。	○	緊急時の理解、応急処置や初期対応の訓練を定期的に行っていきたいとおもいます。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し 昼夜問わず緊急連絡にて早急に対応、常に避難経路の確認、年2回の避難訓練を行っています。	○	地域の消防署とは訓練で連携をとってはいますが、地区の消防団の方々とも連携を図ると共に、より多くの地域の方々との協力が得られるように努めていきたいと思っております。
72	一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	ご本人様の状況により、今後起こり得るリスクについて、ご家族様に説明ご理解の上 入居していただいております。抑圧感のない生活をして頂くためにも、職員一同 十分に事故防止に努め、常に行動を把握しておくように努めております。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタルチェックや健康チェックは毎日実施、入浴の際には全身を、又 排便にも気をつけ、いつもと違う様子があれば、申し送りや記録をし、緊急の場合は家族連絡にて 早急に医療機関に受診しております。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用者様の服薬は絶対に間違いがないように個別に管理し、食前・食後・寝る前あるいは食間なども必ず手渡しにて服薬確認をしております。処方薬の種類や効能の情報もファイルにていつでも職員が閲覧でき、把握できるようにしております。	○	職員全員が薬の情報、リスクに関して把握できるように、又、折々の服薬の変更に関しても常に把握できるように今後も努めます。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	ご高齢の方は便秘症の方が多く、食事で食物繊維や水分摂取の工夫、散歩や負担のないリハビリ運動・外出など歩行距離を伸ばすなど、身体を動かす事で腸管の蠕動運動の増進のための工夫をしております。便秘持続の方々は、食後の整腸剤や下剤服用で予防対策を考えております。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	必要な方は毎食後にも口腔ケアを行い、ご利用者全員、夕食後必ず洗面所にて歯磨きや入れ歯洗浄など その人に応じて口腔内の臭いや汚れ除去を、スタッフが付き添って見守ったり援助したりしています。入れ歯の方は毎朝 洗顔時にうがいし接着して頂いております。それは、誤飲や肺炎防止にもなっているように思えます。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量は毎日記録し一日の合計を把握、便秘予防や健康管理の把握に努めています。夜間 排泄時の水分摂取や嚥下困難な方にはトロミで工夫したりして、水分を摂って貰える様に工夫しております。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症マニュアルを職員がすぐ見られるように設置し実行しております。時期により回覧や、ミーティングにて注意を促し、うがい・手洗いの徹底を常に心掛けています。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	布巾・まな板は毎日ハイター消毒し、食器や調理器具も湯洗浄後に食器乾燥機にて衛生管理を徹底し、食材も新鮮で安全な食材を使用しています。何よりも 調理職員の手指の消毒やエプロン・キャップ等にも常に配慮し、食中毒や感染症予防を常に心掛けています。		
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	敷地入り口に、庭を設け玄関周りや建物の周囲に植木や草花を植え、玄関にはいつも季節の花を飾るようにしています。家庭的な雰囲気や、ご家族様やご来訪者の方々にも親しみやすく安心して出入りして頂けるように工夫をしております。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同の生活空間には、四季折々の物を装飾し、テレビ・季節の花・行事の写真・壁飾り等で、明るく家庭的な雰囲気を醸しだし、居心地よく過ごせるように工夫をしております。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づく 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールや廊下にソファを置き、一人あるいは気のあったご利用者同士で過ごしていただいております。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様の協力を得て、愛用の品や写真などをおき、使い慣れたものや好みの物を活かし、ご本人様が居心地よく、安心して過ごして頂けるように工夫をしています。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	朝の居室掃除時に換気をし、ベッドメイキングやその都度 臭気や乾燥のないように配慮、室温も定期的に見回り、随時温度調節をしております。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部は、ご利用者様の動作に合わせて手摺りを設置し、居室・ホール・トイレ・浴室・洗面所・玄関等に工夫を施し、安心して自立した生活が送れるように支援しております。		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	ご利用者様それぞれの残存能力を出来るだけ活かして、家庭生活の延長として、混乱や失敗を防げるような表示や目印で判断し行動していただいております。時計やカレンダーも取り付け、活動意欲を高めて下さるような声掛けも心掛けております。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物敷地内に菜園や庭があり、天気のよい日には散歩や日光浴、外庭でお茶やゲームを楽しんだりしていただいております。裏にはベランダもあり、昨年夏には そうめん流しを楽しみました。		

. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	ほぼ全ての利用者の
			利用者の2/3くらいの
			利用者の1/3くらいの
			ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	毎日ある
			数日に1回程度ある
			たまにある
			ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	ほぼ全ての家族と
			家族の2/3くらいと
			家族の1/3くらいと
			ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	ほぼ毎日のように
			数日に1回程度
			たまに
			ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	大いに増えている
			少しずつ増えている
			あまり増えていない
			全くいない
98	職員は、活き活きと働けている	○	ほぼ全ての職員が
			職員の2/3くらいが
			職員の1/3くらいが
			ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての利用者が
			利用者の2/3くらいが
			利用者の1/3くらいが
			ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	ほぼ全ての家族等が
			家族等の2/3くらいが
			家族等の1/3くらいが
			ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ご家庭の生活と同じように自立して過ごしていただきたく、「暖かい家庭的な雰囲気、満足感と安らぎのある生活」を、常に心掛け、自立支援にて安心出来る生活を送られるように、取り組んでおります。それには、ご入居者様のお話をよく聞き、受容し、ご要望に添うような支援を心がけて、何よりもご家族様との信頼関係をも大切にするように、日々、取り組んでおります。